

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期塩谷町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

栃木県塩谷郡塩谷町

### 3 地域再生計画の区域

栃木県塩谷郡塩谷町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の総人口は、1960年の17,665人をピークに減少しており、国勢調査によると2020年には10,354人まで落ち込んでおり、住民基本台帳によると2025年には9,695人となっている。国立社会保障人口問題研究所の推計によると、現状のまま推移すると、2050年には4,587人にまで減少する見込みである。

年齢3区分別人口については、年少人口のピークは1985年の3,260人、生産年齢人口のピークは1980年の9,914人でともにその後減少しており、2050年にはそれぞれ181人、1,620人にまで減少する見込みである。一方、老年人口は1980年の1,812人から増加しており、2020年まで増加を続けた後、減少に転じ、2050年には2,786人になり、高齢化率は60.7%になる見込みである。

自然動態について、1995年時点で出生数と死亡数が同数であったが、それ以降、出生数は減少、死亡数は増加傾向にあり、2025年には162人の自然減となっている。なお、合計特殊出生率について、1983～1987年には1.98であったが、年々低下傾向にあり、2019～2023年には1.14となっている。

社会動態は、1995年時点では転出数より転入数の方が多かったが、やはりそれ以降、転入数より転出数が多い傾向となっている。2007年以降、社会動態は概ね毎年100人前後の減少となっており、2025年には124人の社会減となっている。これとあわせ、自然動態の減少規模が拡大しており、総人口の減少を加速させている。

このような少子高齢化・人口減少の進行は、居住エリアが玉生地区・船生地区・

大宮地区の3つに分散している本町特有の地理的条件と相まって、地域コミュニティの機能低下、空き家や耕作放棄地の増加につながる。また、地域経済の規模が縮小し商業・医療・交通等の様々な機能・施設が撤退・廃業するとともに、歳入の減少に伴う行財政の悪化により様々な公共サービスを現在の水準で維持することが困難になり、公共施設の統廃合も進むことが見込まれる。

これらの課題を解決するため、本計画において以下の4つの基本目標を設定し、人口減少の克服に向けた対策を打っていくこととする。

基本目標1 就労機会の創出

基本目標2 地域の魅力向上と関係人口の創出

基本目標3 生みやすさ・育てやすさの充実

基本目標4 快適な住環境の整備

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030 年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規就業者数(累計)	10人	31人	基本目標1
イ	転入者数	161人	200人	基本目標2
ウ	出生数	22人	28人	基本目標3
エ	転出者数	285人	260人	基本目標4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例(内閣府)：【A2007】

#### ① 事業の名称

第2期塩谷町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 就労機会の創出事業
- イ 地域の魅力向上と関係人口の創出事業
- ウ 生みやすさ・育てやすさの充実事業
- エ 快適な住環境の整備事業

## ② 事業の内容

### ア 就労機会の創出事業

新たに農林業に就きたい人、起業したい人をターゲットに、働く世代の増加、既存産業の継承を目標として実施する事業。

#### 【具体的な事業】

- ・農林業への就業支援事業
- ・創業支援事業
- ・商工業の振興支援事業 等

### イ 地域の魅力向上と関係人口の創出事業

地域内外の町に関わる人をターゲットに、移住者・関係人口の増加、定住・Uターン促進を目標として実施する事業。

#### 【具体的な事業】

- ・地域の魅力向上事業
- ・定住・Uターン促進事業
- ・移住者の受入れ体制整備事業 等

### ウ 生みやすさ・育てやすさの充実事業

子育てをしたい人、子ども・子育て中の人をターゲットに、子育て世代の定住、子どもの増加を目標として実施する事業。

#### 【具体的な事業】

- ・出産に対する支援事業
- ・子育てに対する支援事業
- ・教育に対する支援事業 等

### エ 快適な住環境の整備事業

町内に住み続けたい人をターゲットに、全世代の転出抑制、安全・安心な生活環境の提供を目標に実施する事業。

#### 【具体的な事業】

- ・全世代が住みやすい住環境の整備事業
- ・空き家の有効活用事業
- ・高齢者が住みやすい生活環境整備事業 等

※詳細は、塩谷町第3次創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に、外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに塩谷町公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

## 6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで